

出会いから結婚・子育てまでの切れ目ない支援のための 県民意識調査結果（概要版）

1 調査の目的

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料とさせていただくことを目的として行うものです。

2 調査の概要

○高知県内全域の18歳以上の県民2,000人を対象に実施。

有効回収数： 906票（有効回収率 45.3%）

○調査期間：令和元年8月24日（土）～ 9月6日（金）までの14日間。

3 調査対象者の属性

○性別：男性 379人(41.8%)、女性 521人(57.5%)、その他 1人(0.1%)

○年齢層：20歳代以下 172人(19.0%)、30歳代 166人(18.3%)、40歳代 156人(17.2%)
50歳代 159人(17.5%)、60歳代以上 253人(27.9%)、無回答 0人(0.0%)

4 調査の結果

別紙のとおり

調査結果

【1. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問1 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

「どちらともいえない」が35.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が25.7%、「やや思う」が22.7%と続いている。

問2-（1） 高知県が「子どもを生み育てやすい環境」だと思う理由

「親との同居、近居により親の支援があるから」が43.5%と最も高く、次いで「各種の保育サービスが充実しているから」が27.5%、「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」が26.3%と続いている。

問2-（2） 高知県が「子どもを生み育てやすい環境」だと思わない理由

「雇用が安定していないから」が49.3%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担が大きいから」が47.7%、「教育への経済的負担が大きいから」が46.8%と続いている。

【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問3 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために特に力を入れるべき施策

1. 総合的な結婚支援

「どちらともいえない」が36.6%と最も高く、次いで「重要」が35.7%、「非常に重要」が13.6%と続いている。

2. 妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備

「重要」が43.3%と最も高く、次いで「非常に重要」が41.4%、「どちらともいえない」が12.1%と続いている。

3. 保育サービス等の子育て支援策の充実

「非常に重要」が44.8%と最も高く、次いで「重要」が42.7%、「どちらともいえない」が8.9%と続いている。

4. ワーク・ライフ・バランスの推進

「非常に重要」が42.5%と最も高く、次いで「重要」が42.1%、「どちらともいえない」が11.5%と続いている。

いている。

5. 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備等

「重要」が48.1%と最も高く、次いで「非常に重要」が34.0%、「どちらともいえない」が13.6%と続いている。

6. 要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進

「重要」が44.7%と最も高く、次いで「非常に重要」が37.9%、「どちらともいえない」が14.0%と続いている。

7. 地域における子育て支援

「重要」が49.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.2%、「非常に重要」が22.1%と続いている。

8. 子ども等の安全の確保

「非常に重要」が43.4%と最も高く、次いで「重要」が42.9%、「どちらともいえない」が10.3%と続いている。

問4 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業を知っているか

「全て知らない」が38.9%と最も高く、次いで「高知で恋しよ！！イベント(出会いイベント)」が22.7%、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」が22.1%と続いている。

問5 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている各事業に対する関心度

1. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団による情報提供

「どちらともいえない」が40.0%と最も高く、次いで「関心はない」が34.9%、「関心がある」が21.3%と続いている。

2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「どちらともいえない」が39.7%と最も高く、次いで「関心はない」が34.7%、「関心がある」が21.7%と続いている。

3. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心はない」が45.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.6%、「関心がある」が12.9%と続いている。

4. 高知で恋しよ！！マッチング(会員制のお引合せシステム)

「関心はない」が47.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が37.5%、「関心がある」が10.4%と続いている。

5. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心はない」が45.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.9%、「関心がある」が11.8%と続いている。

6. 婚活サポーター

「関心はない」が45.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.7%、「関心がある」が14.9%と続いている。

7. こうち子育て応援の店

「どちらともいえない」が34.0%と最も高く、次いで「関心がある」が33.0%、「関心はない」が27.9%と続いている。

8. 高知の子育て応援サイト「こうちプレマnet」

「どちらともいえない」が37.4%と最も高く、次いで「関心がある」が28.7%、「関心はない」が、29.2%と続いている。

問6 高知県の少子化対策や取組に対する情報発信の取り組みを知っているか

「知らない」が62.8%と最も高く、次いで「知っている」が34.0%となっている。

【3. 子育てについて】

問7 理想的な子どもの人数

「2人」が45.8%と最も高く、次いで「3人」が39.2%、「1人」が4.2%と続いている。

問8 現実的に持ちたいと考えている子どもの人数

「2人」が46.7%と最も高く、次いで「3人」が24.8%、「1人」が11.6%と続いている。

問9 理想の数だけ子どもを持たない理由

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」63.2%と最も高く、次いで「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」が34.6%、「ほしいけれどもできないから」が16.5%と続いている。

問10 子育てをするために利用したいと思う支援機関やサービス

「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が47.8%と最も高く、次いで「延長保育」が35.0%、

「地域子育て支援センター」が21.4%と続いている。

問11 地域における子どもを守り育てる活動へ参加したか

「参加したことはない（参加したくない）」が43.4%と最も高く、次いで「参加したことはないが参加したい」が27.8%、「参加したことがある」が25.9%と続いている。

問12 男性が働きながら子育てする環境に必要なだと思うこと

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が66.3%と最も高く、次いで「有給休暇が取りやすいこと」が57.1%、「育児休業制度が利用できること」が50.1%と続いている。

問13 女性が働きながら子育てする環境に必要なだと思うこと

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が74.4%と最も高く、次いで「育児休業制度が利用できること」が71.9%、「配偶者（パートナー）が家事・育児に参画・協力すること」が69.5%と続いている。

問14 日本の男性の育児休業取得率が低い理由

「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が63.2%と最も高く、次いで「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が62.4%、「育児休業中の手取り収入が減る」が40.1%と続いている。

問15 自身が育児休業を取得したいと思うか

「ぜひ取得したい」が24.6%と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得したい」が10.9%、「どちらでもない」が7.7%と続いている。

問16 子育てについて感じている負担について

「子育てにお金がかかる」が56.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が52.6%、「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が24.2%と続いている。

問17 今後（将来）子育てをするうえでの不安や悩みについて

「子育てにお金がかかる」が76.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が52.6%、「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が13.7%と続いている。

問18 子育ての不安や悩みについての相談先

「配偶者（パートナー）」と「友人、知人」が同率の71.6%と最も高く、次いで「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」が67.4%と続いている。

【4. ワーク・ライフ・バランスについて】

問19 あなたの職場は子育てに対して協力的か

「やや思う」が29.9%と最も高く、次いで「思う」が27.0%、「どちらともいえない」が23.6%と続いている。

問20 あなた自身は職場の中で子育てに協力的か

「思う」が36.8%と最も高く、次いで「やや思う」が28.4%、「どちらともいえない」が23.2%と続いている。

問21 あなた自身が最も「利用して良かった」と思う職場の制度や仕組みとは

「時間単位で取得できる年次有給休暇」が30.3%と最も高く、次いで「育児休業制度」が29.0%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が19.1%と続いている。

問22 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは

「育児休業制度」が39.5%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が32.4%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が32.2%と続いている。

問23 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な県の施策（支援）とは

「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が44.6%と最も高く、次いで「トップの意識改革（管理職を対象とした意識醸成セミナー等）」が41.6%、「制度の創設に向けた支援（時間単位で取得できる年次有給休暇制度等の導入支援等）」が39.3%と続いている。